

初期リウマチの患者さんを治療して

本橋 靖子

[患者] Sさん 女性 45歳

[初診日] 2011年12月7日

[主訴] 腰痛・初期のリウマチ（医師に遺伝性と言われる）

[現病歴] 数日前より指を強く曲げたり、ドアをノックすると普通のノックの10倍痛い。

[既往歴] 耳下腺症、顎下腺症、遺伝性低眼圧性緑内障、甲状腺機能低下症

[所見] 脈状：滑・弦・左寸口が一番大きいリウマチの脈

腹症：腎虚（下腹に力がない）

火穴：（-）

処置 1回目

扁桃処置 10分程度留鍼

両丘墟・四瀉に施灸各7壮

陽陵泉に施灸15壮

帶脈に雀啄

丘墟・四瀉・陽陵泉に灸点をおろす

2回目 脈状：弦

腹症：（-）

扁桃処置 10分程度留鍼

丘墟・四瀉に10分程度留鍼、施灸各7壮

陽陵泉に施灸15壮

左小指第一関節及び右示指第一関節（手の甲、関節中央）に施灸各5壮

帶脉

3回目 (39日目)

脉状：弦で左の脉の方が弱くなっている

腹症：（-）

灸をすると手は楽、しかし子供を抱いたり、手指が引っ張られると痛い。

扁桃処置、丘墟・四瀉に施灸各7壮、陽陵泉に15壮

左小指・右示指に施灸各5壮

帶脉

4回目

脉状：滑・弦
腹症：（-）
扁桃処置
丘墟・四瀆に施灸各 7 壮、陽陵泉に 15 壮
帶脉

5回目 （108日目）

脉状：滑・弦
腹症：臍下動悸
ペインスケールを 0 から 10 とし、最初の痛みを 10 とすると今日現在の痛みは 10 分の 3~4。
扁桃処置、丘墟・四瀆に施灸各 7 壮、陽陵泉に 15 壮
帶脉

6回目 （122日目）

脉状：弦
腹症：臍動悸
扁桃処置、丘墟・四瀆に施灸各 7 壮、陽陵泉に 15 壮
帶脉
痛みは随分楽になったと言う。ペインスケール 10 分の 2~3。

7回目

脉状：数・滑・弦 のどが痛い
腹症：（-）
扁桃処置、丘墟・四瀆に施灸各 7 壮、陽陵泉に 15 壮
帶脉
飛蚊症がある為、目の周囲を治療

8回目

脉状：緊
腹症：臍動悸
施灸継続約 4 ヶ月目。眼科検診に行き、眼圧が 15 から 12 に下がっていたので びっくりしたと言う。
扁桃処置、丘墟・四瀆に施灸各 7 壮、陽陵泉に 15 壮
帶脉

最終の治療から 9 ヶ月を経過した現在、患者に確認した所、左手小指の痛みは消失。示指に関しては時々違和感がある程度である。
眼圧は 12 を維持している。

[考察]

2008 年 5 月に腰痛で私の治療を受けて下さり、症状が緩解した。今回、初期リウマチと診断され、病院から服薬治療を勧められ、母親からも病院の治療を受ける様、強く勧められた、しかし、その前にどうしても鍼灸治療を受けたいと願って、当院にご連絡をくださった。

リウマチは自己免疫異常から発症する為、扁桃処置で免疫の強化を図った。
また、筋緊張に伴う神経機能障害や血行障害を、錐体路系を介して改善する為丘墟・上四瀆に対して施灸を続けた。
さらに、全身の筋肉を遠隔的に緩める為に帶脈を使用した。

患者は温厚で素直な性格であり、『リウマチは初期であれば治る』という言葉に信頼をおいて下さり、ご家族の理解と協力もあって、真面目に治療を続けて頂いた事が好転に結び付いたと思う。

緑内障の治療は全く行っていないが、2008 年 5 月に 18 と 19 であった眼圧が、3 年半の間に 15 に下がり、今回また 12 に下がっていたのは、扁桃処置によって自律神経のバランスが安定した事と、緑内障の治療点の一つである、胆經の陽輔と同系である陽陵泉への多壮灸が、眼圧にも良い影響を与えたのではないかと思う。